

論壇

日本の遅れたデジタル化

最近、DXやGXという言い方をあちこちで聞くことが多い。DXはデジタル・トランスフォーメーションのことであり、GXはグリーン・トランスフォーメーションのことである。Xはトランスフォーメーションを意味しており、変化とか変質と訳せばよいだろう。要するに世の中がデジタル技術やグリーンの動きによって、大きく変化するということだ。

多くの企業ではこのGXやDXを軸に経営のあり方を大きく見直すところにいる。コロナ禍で社会も経済も大きく変わりつつある。

伊藤 元重 (国際経済学) 学習院大教授

デルタ株が猛威を振るっておりコロナ禍からなかなか脱却できない状態が続いているが、企業はその先を見ようとしているのだ。私たちの周囲を見ると観光や飲食など厳しい状況が続いている業種も少なくないが、製造業を中心に業績の回復は著しく、コロナ前の業績まで戻している企業も多々ある。

だけではない。私たちの日常生活や社会のあり方そのものが大きく変わろうとしている。企業と同じように、私たちも一人一人が自分の生活にとってDXやGXが何であるのか考えてみる必要がある。

デジタル社会が広がることで私たちの生活がどのように変わっていくのか。これまでもこの欄で何

コロナ禍のDXやGX

そうした企業の多くがコロナ前とコロナ後では社会や経済の構造が大きく変わると考えており、その変化のキーワードがDXやGXというわけだ。

GXやDXは社会全体が大きく変化するということを意味している。それは企業の経営環境の変化

度か取り上げてきた。残念ながら、コロナ禍の前の日本社会はDXの面で大きく出遅れていた。コロナ対応について起きた多くのゴタゴタの中でこの遅れが明らかになった。国民全員に10万円ずつ配る政策、あるいは多くの住民に短期間にワクチンを接種して接種証明書

を発行するといった、多くの先進国では当たり前にできたことが日本ではうまくいかなかった。日本のデジタル化がひどく遅れていることは明らかだ。

マイナンバーの活用が鍵

医療でも教育でも働き方でも、デジタル技術を利用することで、社会を大きく変えることができる。多くの専門家によって指摘されていることだ。国民生活の中でDXがどこまで進むのか、当面の鍵を握っているのはマイナンバーの活用をどこまで進めていけるのかだろう。国民の中にはマイナンバーカードを活用した社会のあり方に抵抗を持っている人も多いようだが、DXの流れはそうした次元を超えて加速化しているようである。

GXについてはスペースの関係上、今回は詳しく触れることはできない。ただ、これまで何回か取り上げてきたように、私たちの社会や生活のあり方を変えない限り、気候変動の問題に対応することはできない。このことを認識することがGXの第一歩だろう。

DXもGXも社会の姿を大きく変える流れである。こうした大きな変化は必ずしも快適なものではない。不便や苦痛を覚えるような生活の変化を求められることもあるだろう。それでもGXやDXという流れを避けることはできない。そのような変化を前向きに捉えて、自ら積極的に行動することが、社会にとっても個人にとっても必要な時期に来ている。

\*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。